



# 神 楽 小

神楽小学校 学校通信  
令和7年5月30日  
第2号

## 「スマホ脳」を防ぐために (Part 1)

校長 小野直久

教育活動の中で、最大の体育的行事である運動会を5月17日に開催することができました。子供たちは、体育の授業等において「より速く走るために」「より上手にできるために」など、それぞれが目標を達成するための方法を考え（個別最適な学び）、仲間と話し合って工夫や改善を繰り返しながら（協働的な学び）取り組んできました。子供たちは、これまでの運動会の取組の成果を発揮して「運動する楽しさ」「他の人を応援する素晴らしさ」「他の人から応援されるうれしさ」を実感し、充実感と満足感を体得することができました。今後、ご家庭におかれましても、お子様と一緒に運動やスポーツを楽しむ機会をつくっていただくと幸いです。

毎年、全国の小学6年生を対象に実施している全国学力・学習状況調査（今年度は4月17日に実施済み）の児童質問紙調査に、平日（月～金曜日）に「ゲームをしている時間」と「SNSや動画視聴の時間」に関する質問項目があります。以下は、昨年度の調査結果です。

【質問番号(5)】平日（月～金曜日）にテレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしている時間と教科調査（国語・算数）の正答率のクロス集計結果

令和6年度	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	1時間以下	全くしない
北海道(公立)	<b>22.3%</b>	<b>14.2%</b>	<b>19.1%</b>	23.9%	14.7%	5.9%
全国(公立)	17.7%	12.6%	18.9%	25.1%	17.7%	8.0%
正答率(国語)	<b>57.6%</b>	62.6%	66.7%	71.0%	74.9%	<b>76.8%</b>
正答率(算数)	<b>52.1%</b>	57.2%	62.0%	67.4%	71.7%	<b>74.0%</b>

【質問番号(6)】平日（月～金曜日）に携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴をしている時間（携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く）と教科調査（国語・算数）の正答率のクロス集計結果

令和6年度	4時間以上	3～4時間	2～3時間	1～2時間	30分～60分	30分以下	持っていない
北海道(公立)	<b>15.0%</b>	<b>10.1%</b>	<b>14.2%</b>	16.9%	12.0%	12.5%	19.2%
全国(公立)	11.9%	8.8%	13.1%	17.3%	13.3%	14.6%	21.1%
正答率(国語)	<b>59.4%</b>	62.9%	66.3%	69.1%	70.7%	<b>71.7%</b>	70.6%
正答率(算数)	<b>53.2%</b>	56.4%	60.9%	64.9%	67.2%	<b>69.2%</b>	67.5%

以上のことから、全国と比べて北海道の小学6年生のゲームや動画視聴の時間が長いことがわかります。また、ゲームや動画視聴に費やす時間が長いほど、教科（国語・算数）の得点が低くなっていることが明らかとなっています。（注：ゲームと動画視聴の時間を区別して質問されているので、ゲームをしてさらに動画視聴をしている数値は含まれていません）～次号につづく～

## 交通安全啓発運動

今年度も神楽地区民生委員児童委員協議会の皆さんが1年生の下校時に合わせて、交通安全啓発運動を行ってくれました。「安全に気を付けてね」と声掛けをしてくださったり交通安全の旗や手を振ってくださったりしました。子ども達の「さようなら!」という元気な挨拶が素晴らしかったです。



## 防災意識を高めるために～避難訓練

21日(水)に火災を想定した避難訓練を行いました。本訓練の目標は「非常時の行動様式と判断する力を身に付ける機会とし、防災意識をもつ」ことです。緊急放送が流れたら活動や話しを止め「どこで火災が起こり、どこに逃げるのか」について先生の指示をしっかりと聞いて素早く行動しようとする姿が見られました。訓練後は、各学級で避難訓練の振り返りを行い、更に防災意識を高めることができました。

## キャリア教育 AIRDO航空教室

5月20日に4～6年生を対象にキャリア教育の一環としてAIRDO航空教室を行いました。整備士、キャビンアテンダント、パイロットの方から1日の業務の流れや仕事に対する思い、夢を叶えるために努力したことなどを話していただきました。子ども達は講師の真摯な思いを真剣に聞いていました。



## 令和7年度学校運営協議会(CS)委員のお知らせ

会長 宮嶋 睦子さん(旭川市神楽地区民生委員児童委員協議会会長)  
副会長 南 尚貴さん(前神楽公民館長)  
委員 岡 愛三さん(前神楽本町地区市民委員会会長)  
木下 雅之さん(神楽小学校同窓会長)  
大森 裕さん(神楽宮前地区市民委員会会長)  
山田 大生さん(神楽小学校PTA会長)

## 暖房設備改修工事が始まります

今年度から2カ年にわたって暖房設備改修工事が行われます。今年度の工事期間は6月中旬から12月初旬を予定しています。

# 6月の行事予定

## 《生活目標》

◎決まりを守って楽しい学校にしよう

## 《保健目標》

◎歯を大切にしよう

日	曜日	行事予定(★は特別日課)
1	日	
2	月	全校朝会 保護者面談② 安全点検日 SC来校☆
3	火	保護者面談③ ★ SNS等のトラブルに係る非行防止教室(5・6年)
4	水	保護者面談④ 歯科健診(1・4・6年)★
5	木	保護者面談⑤ 歯科健診(2・3・5年)★
6	金	遠足(1～4年) ボランティア実習 ★
7	土	
8	日	
9	月	保護者面談⑥ ★
10	火	耳鼻科健診(2・5年) クラブ① ★
11	水	保護者面談⑦ ★
12	木	職員会議 ★
13	金	ALT来校 遠足予備日(1～4年お弁当)★
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	委員会④ いじめ対策委員会 ★ 外国語サポーター(3・4年)
18	水	読み聞かせ(3・4年)
19	木	修学旅行
20	金	修学旅行 ★
21	土	
22	日	
23	月	生け花教室(特)
24	火	クラブ② ★
25	水	
26	木	
27	金	研修日 ボランティア実習 ★
28	土	
29	日	
30	月	

# 神楽っ子の絆と心の炎～みんな輝いた運動会～

5月17日（土）、晴天の下、運動会が行われました。今年度も、1～3年生の低学年ブロック、4～6年生の高学年ブロックに分かれての開催となりました。

テーマ「輝く神楽っ子！その瞬間を全力で！～みんなの絆と心の炎」のとおり、心の炎を燃やし全力で頑張る姿が輝いていた運動会となりました。最後まで頑張り抜くことができたのは保護者・地域の皆様のお熱くて温かなご声援のおかげです。また、マナーを守った観覧にもご協力いただき、大きなトラブルもなくスムーズに進行できたことに深く感謝いたします。ありがとうございました。



1年生は「50m徒競走」で全力で走り、「にこにこ玉入れ」では元気いっぱい踊り、紅白玉を投げるなど、身体いっぱい使って小学校での初めての運動会を楽しんでいました。



2年生は「たくさん入れろ！イカゲーム玉入れ！！」で昨年同様、踊りの合間に玉入れを元気に行っていました。昨年に比べて踊りも玉の投げ方も力強さがレベルアップしていました。



3年生は恒例の「大玉リレー」です。ペアで息を合わせて上手に大玉をコントロールして転がしていました。赤組も白組も練習の成果を全力で発揮していました！！



4年生恒例種目「GO!ハリケーン」は4人1組となり、長い棒をバトンに見立ててリレーする迫力満点の競技です。何度も作戦を話し合い、練習を重ねてきたため、勝負は接戦となり、応援にも熱が入りました。



5年生は「引くぞ！気合いだ！全力綱引き！！」。勝負に勝つために赤白に分かれて何度も作戦を立てていました。両者の力が拮抗していて、最後まで勝負が分からないくらいの接戦でした。



6年生はテイクオーバーゾーンをチーム毎に工夫する「スーパーテイクオーバーゾーンリレー」。6年生全員が全力で走る真剣さが伝わってくるリレーでした。こどもたちの心の炎が観覧席まで伝わったのではないのでしょうか。

**運動会前日の保護者席の区分け作業や運動会後のテント・釘抜き等の後片付けなど保護者ボランティアのご協力、本当に有難うございました。**

# 小学生とLINEの関わり方について

スマートフォンや SNS の普及により、子どもたちの間でも LINE の利用が広がっています。LINE は便利なツールである一方で、使い方を誤るとトラブルや犯罪に巻き込まれる危険性もあります。

## 1. LINE の利用推奨年齢について

LINE 社は 2020 年 1 月 6 日にリリースされた iOS 版から、利用推奨年齢を「12 歳以上（中学生以上）」に引き上げました。これは、小学生の段階では安全な利用が難しい場面が増えているという現実を踏まえた対応です。小学生の LINE 使用を禁止するものではありませんが、使わせる場合は保護者の適切な管理が必要です。

## 2. 全国の小学校で起こったトラブル事例

### ■ 夜間の未返信によるトラブル

夜遅くに送られたメッセージに返信できなかった児童が、翌日「無視された」と責められ、友達関係が悪化。

### ■ グループ LINE での陰口

仲間内のグループで、ある児童のことをからかう発言が繰り返されたことを、本人が知って深く傷つき不登校に。

### ■ 不適切なスタンプ・画像のやり取り

暴力的なスタンプや不快な画像が送られ、受け取った児童が怖がって保護者に相談。

### ■ 長時間通話での健康被害

深夜までグループ通話を続けていた児童が、睡眠不足により授業中の集中力が著しく低下。

### ■ 見知らぬ人のグループ招待

児童が他人をグループに招待し、知らない人とつながってしまったことに児童が不安を感じ保護者に相談。

## 3. ご家庭での対応のお願い

LINE や SNS は「使わせるかどうか」だけでなく、「どのように使うか」、「誰と使うか」、「使用時間帯はどうするか」などについて、しっかり話し合い、「〇時以降は使わない」「知らない人は追加しない」など、**具体的なルールを家庭で決める**ことが大切です。

また、**他の家庭とはルールが違う**ことを子どもに理解させることも、トラブル防止につながります。

SNS トラブルが起これば、学校での対応には限界があります。子どもたちの良好な友達関係を維持するために、各家庭ではトラブルを未然に防ぐために LINE や SNS に関するルールについて話し合いをしていただきますよう、お願いいたします。